





# 文化財をたずねて 網干歴史めぐり

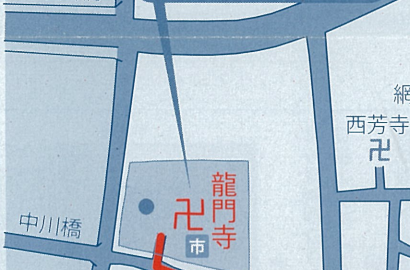


魚吹八幡神社楼門 市



龍門寺大方丈 市

「不生禅」で名高い盤珪国師が丸亀藩主京極家の保護と網干の豪商佐々木家の援助を受け、寛文元年(1661)に創建しました。伽藍内建築は市指定文化財です。



龍門寺 市



貞閑尼(田捨女)の墓

- 県 兵庫県指定文化財(建造物)
- 市 姫路市指定文化財(建造物)
- 登 国登録有形文化財(建造物)

元治2年(1865)銘の津市場の火揚げを描いた絵馬があります。

長太郎は「網干音頭」に歌われている伝説上の人物

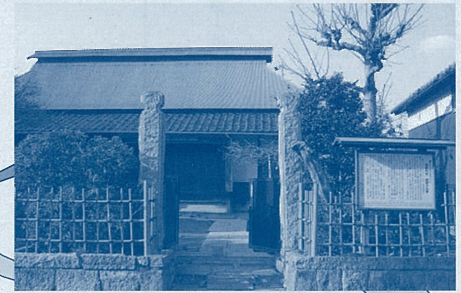
稲荷神社

河野鉄兜の生家と歌碑

長太郎石

魚吹八幡神社 縣市

通称津の宮と呼ばれる網干の氏神です。楼門・敷島社本殿は県指定文化財です。秋季例祭風流は県指定、鬼追い(武神祭)は市指定の無形民俗文化財です。



誠塾(稻香村舎) 市

林田藩の儒学者河野鉄兜の弟東馬が慶応4年(1868)に設立した私塾



旧網干銀行本店

大江島

大江島

外国人技師住宅(ダイセル異人館)

ダイセル工場



外国人技師住宅(旧図書館)



外国人技師住宅(クラブハウス)

日本セルロイド人造絹糸株式会社(現ダイセル化学)が工場を建設するにあたり、明治42年(1909)に外国人の宿舍として建設しました。

河野東馬(香邨先生)の墓。墓地にキリシタン燈籠もあります。

天福元年(1233)に定翁隆禪上人が開いた光接院が起源とされ、天文3年(1534)に兵火で焼した後、現在地に移り寺号を大覚寺と改めたとされます。境内建造物は市指定文化財です。

江戸時代には、興浜と新在家の境となっていた堀割は、丸亀藩(京極家)と龍野藩(脇坂家)の藩境でもあり「境橋」と呼ばれる石橋が架かっていました。



大覚寺本堂 市



河野東馬(香邨)の墓



「盤珪国師誕生の地」の碑

盤珪国師の誕生の寺

京極家臣の遺族会が建てた碑

余子浜

榎秀碑  
勝海舟の筆による碑

加藤家住宅

あぼしまち交流館

片岡家住宅

境橋跡

善慶寺

陣丸亀藩

大覚寺 市

興浜

新在家

浜田

不徹寺

貞閑尼(田捨女)が開いた寺

西芝体育館

材木港へ

網干西小

西芳寺

義徳院

網干中

網干小

網干港

網干公園

網干神社

網干高

網干

網干

網干

網干

網干

網干

網干

網干

網干

網干

網干

網干

網干

網干

網干

網干

網干

堀保川

網干大橋

垣内

網干市民センター

あぼし

あぼし

あぼし

あぼし

あぼし

あぼし

あぼし

あぼし

あぼし

あぼし

あぼし

あぼし

あぼし

あぼし

あぼし

あぼし

あぼし

あぼし

あぼし

あぼし

あぼし

あぼし

あぼし

あぼし

あぼし

あぼし

あぼし

あぼし

あぼし

あぼし

あぼし

あぼし

あぼし

あぼし

あぼし

あぼし

あぼし

あぼし

あぼし

あぼし

あぼし

あぼし

あぼし

あぼし

あぼし

あぼし

垣内公園

山陽電鉄 網干線

山陽電鉄 網干線

山陽電鉄 網干線

山陽電鉄 網干線

山陽電鉄 網干線

山陽電鉄 網干線

山陽電鉄 網干線

山陽電鉄 網干線

山陽電鉄 網干線

山陽電鉄 網干線

山陽電鉄 網干線

山陽電鉄 網干線

山陽電鉄 網干線

山陽電鉄 網干線

山陽電鉄 網干線

山陽電鉄 網干線

山陽電鉄 網干線

山陽電鉄 網干線

山陽電鉄 網干線

山陽電鉄 網干線

山陽電鉄 網干線

山陽電鉄 網干線

山陽電鉄 網干線

山陽電鉄 網干線

山陽電鉄 網干線

山陽電鉄 網干線

山陽電鉄 網干線

山陽電鉄 網干線

山陽電鉄 網干線

山陽電鉄 網干線

山陽電鉄 網干線

山陽電鉄 網干線

山陽電鉄 網干線

山陽電鉄 網干線

山陽電鉄 網干線

山陽電鉄 網干線

山陽電鉄 網干線

山陽電鉄 網干線

山陽電鉄 網干線

山陽電鉄 網干線

山陽電鉄 網干線

山陽電鉄 網干線

山陽電鉄 網干線

山陽電鉄 網干線

山陽電鉄 網干線

山陽電鉄 網干線

山陽電鉄 網干線

山陽電鉄 網干線

山陽電鉄 網干線

山陽電鉄 網干線

山陽電鉄 網干線

網干小学校の敷地には龍野藩主脇坂家の藩邸がありました。

大正時代中頃に網干銀行の本店として建てられた建物

旧龍野藩藩邸跡

ダイセル総合研究所

保存樹

網干公園

ダイセル前

網干神社

網干高

網干

網干

網干

網干

エコパークあぼし